

平成24事業年度 公立大学法人島根県立大学業務実績評価 評価点採点表

大中小 項目	No.	H24年度計画	実績	法人 評価点	事務局 評価点	委員会 評価点	委員会 評価平均	5段階 評価
II. 新たな大学構想の確立と実現に向けた取り組み				4	4	4	4.00	A
	No.1	平成22年4月に制定した大学憲章の理念を実現するため、大学憲章の精神に沿った事業を前年度に引き続き実施する。	実施した。	4	4	4		
IV. 自主的、自律的な組織・運営体制の確立				164	162	162	4.05	A
1. 業務運営の改善及び効率化								
(1) 運営、組織体制の改善による効率的、合理的な経営								
	No.129	理事会を開催し、理事長の迅速な意思決定に資する。	実施した。	4	4	4		
	No.130	全学運営組織の機能強化・効率化のため、必要な見直しを行い運営する。	実施した。	4	4	4		
	No.131	アドミッションセンターは、学生募集活動、AP公表、入試分析、高大連携事業を実施する。	実施した。	4	4	4		
	No.132	キャリアセンターは、新たなキャリア教育の構築、アドバイザー配置、卒後のフォローアップ等を行う。	実施した。	4	4	4		
	No.133	FDセンターは、調査研究、啓発活動、FD研修会、授業評価支援等を行う。	実施した。	4	4	4		
	No.134	地域連携推進センターは、総合相談窓口の設置・昨日強化、公開講座、自治体等協力活動、広報強化、地域調査・産学官連携検討、地域貢献活動支援、連携事業等支援を行う。	実施した。	4	4	4		
	No.135	メディアセンターは、図書館運営の改善、情報システム機器更新等を行う。	実施した。	4	4	4		
	No.136	保健管理センターは、研修会参加・実施、学生の健康状態分析、カウンセラー等連携、健康診断・健康管理体制整備、衛生委員会連携を行う。	実施した。	4	4	4		
	No.137 1)	理事長のリーダーシップのもと、中期計画及び年度計画を踏まえて予算が公平で効果的な配分となるよう、予算編成を行う。	実施した。	4	4	4		
	2)	予算の管理・執行が効率的に行えるよう、必要に応じて見直しを検討し、機能的な執行体制を推進する。	実施した。	4	4	4		
	No.139	テレビ会議システムを積極的に活用し、事務の効率化に努める。	実施した。	4	4	4		
	No.140	リース満了を迎える各種システムの更新作業や改修等を着実に進める。	学生情報システムの更新において計画以上の整備を行った。	5	4	4		
	No.141	各キャンパスの業務量を的確に把握し、その変化に応じた組織及び人員配置の変更を検討し、必要に応じて法人プロパー職員を計画的に採用し、適正な人員配置を行う。	実施した。	4	4	4		
(2) 人事の適正化による優秀な人材の活用								
	No.143	法人化に伴い構築した自主的な人事制度を継続運用し、必要に応じて就業規則の変更を行いながら、自律的効率的な運用を行う。	実施した。	4	4	4		
	No.145	人件費の総枠管理を重視した上で、年齢や職格のバランスに留意した教職員の人事管理の適正化を図る。	実施した。	4	4	4		
	No.148	サバティカル研修実施細則に則り制度の運用を図る。	実施した。	4	4	4		
	No.149	教員個人評価実施要領に則り制度の運用を図る。	実施した。	4	4	4		
	No.150	評価結果を処遇に反映する制度の運用を図る。	実施した。	4	4	4		
	No.151	事務局職員の採用計画について、島根県と協議しながら策定し、任期を定めない事務局職員を採用する。	実施した。	4	4	4		
	No.152	採用計画に基づき、プロパー職員の採用を行うが、任期の定めのない職員採用と並行して、機動的な人員配置が行えるよう、任期付の事務局職員についても計画的に採用する。	実施した。	4	4	4		
	No.153	法人職員の採用に伴い、事務局職員としての能力、意識の向上を図るための一般的な研修を実施するとともに、公立大学協会、大学セミナーハウス等が開催する中央研修を効果的に活用して、専門的な能力の開発に努める。	実施した。	4	4	4		
2. 財務内容の改善による経営基盤の強化								
コスト意識の涵養、内部チェック体制等								
	No.154	公立大学法人制度、会計制度、法人予算、財務実務等の研修を実施し、職員のコスト意識を高める。	実施した。	4	4	4		
	No.155	理事長が指名する法人職員による内部監査人監査を実施するとともに、会計監査人監査及び監事監査を受けて、大学運営の健全性、透明性を確保する。	実施した。	4	4	4		
(1) 自己財源の充実								
	No.108 1)	各キャンパスにおいて科学研究費補助金申請等外部資金獲得に関する研修会を開催するなどの取り組みを行う。	実施した。	4	4	4		
	2)	引き続き科研費以外の外部資金について、情報の集約と情報提供を行い、新規獲得を推進する。	実施した。	4	4	4		
	3)	引き続き学内競争的資金配分と外部資金獲得との連携をより重視した制度運用を行う。	実施した。	4	4	4		
	4)	NEARセンターはセンター研究員の同意を得て、科研費計画調書を採否にかかわらず収集し、学内閲覧を可能にするための方策を検討する。	調書を閲覧に供するに至ったことは計画以上の成果である。	5	4	4		
	5)	NEARセンターはセンター研究員の同意を得て、研究助成財団に提出した申請書を採否にかかわらず収集し、学内閲覧を可能にするための方策を検討する。	調書を閲覧に供するに至ったことは計画以上の成果である。	5	4	4		
	6)	教員研究費の配分において、目的志向型の競争的資金を増加させるよう、更に申請を促進する。	実施した。	4	4	4		
	No.156	文部科学省等による大学教育の充実や就職支援の強化など学生支援の取り組みを支援する各種プログラムへの申請に積極的に取り組む。	実施した。	4	4	4		
	No.157 1)	各キャンパスにおいて、受託研究の実施のための受入体制を充実させ、合意に至った部分から受託し、事業を実施する。また、既に継続中の受託研究については、引き続き実施する。	実施した。	4	4	4		
	2)	(浜田キャンパス) 受託・共同研究の受入体制の整備について、規程策定の他に関連するマニュアル、外部公表のための資料の整備を行う。	規定を外部公表し、受入体制を整えるに至った。	5	5	5		
	No.159 1)	大学施設の利用をホームページ等でPRしながら、使用料の確保を図る。	前年度を大きく上回る施設使用料の収入があった。	5	5	5		
	2)	(松江キャンパス) 地域貢献の観点から、ホームページによる大学施設(体育館研修室、大講義室)利用のPRを行うとともに、積極的な施設開放を行う。また、図書館についても公開講座受講者の利用拡大に努める。	実施した。	4	4	4		

平成24事業年度 公立大学法人島根県立大学業務実績評価 評価点採点表

大項目	中項目	小項目	No.	H24年度計画	実績	法人	事務局	委員会	委員会 評価平均	5段階 評価	
						評価点	評価点	評価点			
			No.160	新たな寄附金制度を積極的に広報し、幅広く寄附を募る。	実施した。	4	4	4			
			No.161	逐次資金状況を把握し、公共債等の有価証券や定期預金により効果的な金融資産の運用を行う。	実施した。	4	4	4			
			No.162	知的財産の管理に関する取扱いに基づき適切に運用する。また、掘り起こしのため取扱いの周知などを行う。	実施した。	4	4	4			
			No.163	法人経営状況を分析の上、自己収入の充実を図り、自己財源比率を高める。	実施した。	4	4	4			
			(2) 経費の抑制								
			No.164	3キャンパスにおいて契約の合理化・集約化等経費節減策について引き続き進める。	実施した。	4	4	4			
			No.165	「エコキャンパス実行計画」に基づき、引き続きエコキャンパス活動を推進する。また、PDCAサイクルを有効に機能させ取り組みの改善を図る。	空調機を高効率タイプに更新するなど一定の成果をあげたが、コピー使用量等が目標数値をオーバーした。	3	4	4			



法人評価点及び事務局評価点が「5」の項目



法人評価点を変更した項目



法人評価点及び事務局評価点が「3」の項目







平成23年度評価で「今後の取組みが期待される事項」の項目

平成24事業年度 公立大学法人島根県立大学業務実績評価 評価点採点表

大項目	中項目	No.	H24年度計画	実績	法人 評価点	事務局 評価点	委員会 評価点	委員会 評価平均	5段階 評価
V. 評価制度の構築及び情報公開の推進					45	45	45	4.09	A
1. 評価制度の構築									
総合的な評価制度の構築									
	No.166		現中期計画に係る業務実績や自己点検・評価、認証評価を踏まえ、魅力ある大学づくりに資する次期中期計画を策定することを重点項目として取り組む。	実施した。	4	4	4		
(1) 組織を対象とした評価制度									
	No.167		島根県公立大学法人評価委員会の業務実績に関する評価を法人及び大学運営等の改善に活用する。	実施した。	4	4	4		
	No.168		学生との意見交換会や地域住民との意見交換会を推進するとともに、出された意見に対して可能な部分から対応する。	実施した。	4	4	4		
	No.169		(浜田キャンパス) 就業力育成支援事業を通じて卒業生へ直接ヒアリングを実施する。	実施した。	4	4	4		
	No.171	1)	平成23年度に実施した「島根県立大学自己点検・評価」を踏まえ、(財)大学基準協会の認証評価を受審するとともに、その結果を今後の魅力ある大学づくりに活用する。	実施した。	4	4	4		
		2)	(松江キャンパス) 評価結果の助言項目について、改善の検討を行う。	実施した。	4	4	4		
	No.168	1)	学生との意見交換会や地域住民との意見交換会を推進するとともに、出された意見に対して可能な部分から対応する。	実施した。	4	4	4		
		2)	(出雲キャンパス) 看護学部開設に伴い、より地域に根ざした大学づくりを進めるため、出雲キャンパスモニター制度に加え、タウンミーティングを実施し、幅広く県民等からの意見を聴く機会を設けていくことを重点項目として取り組む。(No.176再掲)	実施したタウンミーティングの報告書の作成・配布に至った。	5	5	5		
	No.169		浜田キャンパスでは就業力育成支援事業を通じて卒業生へ直接ヒアリングを実施する。	実施した。	4	4	4		
(2) 個人を対象とした評価制度									
	No.149		教員個人評価実施要領に則り制度の運用を図る。	実施した。	4	4	4		
2. 情報公開の推進									
	No.172		県立大学の自己点検・評価報告書の公開を実施する。	実施した。	4	4	4		
VI. その他業務運営に関する重要事項					87	87	87	3.95	A
1. 広報広聴活動の積極的な展開等									
	No.174	1)	ホームページによる情報発信について、掲載情報の更新を頻繁に行うことによる情報の鮮度アップを図るとともに、大学の資源や魅力を効果的に伝達することに取り組む。		4	4	4		
		2)	ホームページや紙媒体により、学生、入学希望者、県民、企業・団体に対して、それぞれが必要とする情報を効果的に発信する。	実施した。	4	4	4		
	No.12		平成25年度入試に向けて、外国人留学生の入学志願者数増加のため、本学教員が海外に訪問する機会に関係諸大学を訪れ、広報活動を行うことを重点項目として取り組む。	実施した。	4	4	4		
	No.175	1)	(浜田キャンパス) 卒業生の意見を反映させながら、各支部の組織強化、活動の活性化に努める。	実施した。	4	4	4		
		2)	帰国留学生とのネットワーク化について、学内関係機関と調整する。	実施した。	4	4	4		
		3)	大学を支える会や島根県立大学支援協議会など大学を支援する組織との意見交換、交流事業の実施等を通じ地域との連携を強化する。	実施した。	4	4	4		
		4)	同窓会組織を通じた在学生への進路・就職活動について協議し、協力を求める。	実施した。	4	4	4		
		5)	松江キャンパスにおいては、平成24年度中に、大学、学生及び卒業生間の情報交換のための電子掲示板システム(学生アンケート等も含む)の運用を開始して交流を推進するとともに、教育改善につなげることを重点項目として取り組む。	実施した。	4	4	4		
	No.176		(出雲キャンパス) 看護学部開設に伴い、より地域に根ざした大学づくりを進めるため、出雲キャンパスモニター制度に加え、タウンミーティングを実施し、幅広く県民等からの意見を聴く機会を設けていくことを重点項目として取り組む。(No.168再掲)	実施したタウンミーティングの報告書の作成・配布に至った。	5	5	5		
2. 施設設備の維持、整備等の適切な実施									
	No.177		施設設備の点検・更新を定期的に行い、施設設備の老朽化をできるだけ防ぐ財産保全対策を実施する。	実施した。	4	4	4		
	No.178	1)	(出雲キャンパス) 看護学部設置に伴い増加する教員・学生数に対応するため、駐車場用地を確保し、造成工事に着工することを重点項目として取り組む。	実施した。	4	4	4		
		2)	(松江キャンパス) 中央監視装置用リモートユニット更新事業ほか1件の施設・設備改修を実施する。	実施した。	4	4	4		
3. 安全管理対策の推進									
	No.179	1)	衛生委員会、衛生管理者、産業医を置き、法令に基づき安全衛生管理体制を整備し、適切に運用する。	実施した。	4	4	4		
		2)	(浜田キャンパス) 平成24年4月から実施の学内全面禁煙を、学内外に周知徹底するとともに、喫煙や受動喫煙による健康被害防止に係る啓発及び教育、禁煙支援等を行う。	実施した。	4	4	4		
		3)	(出雲キャンパス) 「ワーク・ライフ・バランス～健康で働きやすい職場づくり～」として、教職員が楽しみながら参加できるプログラムの企画・実施など、職員の健康対策に重点的に取り組む。	実施した。	4	4	4		
	No.180	1)	さまざまな場面を想定した危機管理マニュアルに基づき、学長をトップとした危機管理体制対応を行う。	実施した。	4	4	4		
		2)	学生寮を対象とした火災訓練を計画的に実施する。	実施した。	4	4	4		
		3)	各キャンパスにおいて、防災訓練を計画的に実施する。	実施した。	4	4	4		
	No.181	1)	平成23年度導入した文書管理システムに、既存のファイルサーバーより順次移管し、情報セキュリティポリシー及び情報格付けに基づいた文書管理を実施する。	情報格付けを行うための情報セキュリティポリシーの再検討にとどまった。	3	3	3		
		2)	情報セキュリティポリシーを形骸化させないよう、利用階層(教員、職員、学生)に適したセキュリティポリシー講習を実施する。	全キャンパスでの講習の実施には至らなかった。	3	3	3		
4. 人権の尊重									
	No.182		さまざまなハラスメント行為を防止するため、3キャンパスそれぞれに設置したキャンパスハラスメント防止委員会において、活動を実施するとともに、相談連絡窓口を置き、学生相談員、所属相談員を配置して相談に当たる。	実施した。	4	4	4		
	No.183		教職員や学生を対象とした人権に関する研修会等を実施する。	実施した。	4	4	4		
総 計					300	298	298	4.05	

平成24事業年度 公立大学法人島根県立大学業務実績評価 評価点採点表

大項目	中項目	小項目	No.	H24年度計画	実績	法人 評価点	事務局 評価点	委員会 評価点	委員会 評価平均	5段階 評価
-----	-----	-----	-----	---------	----	-----------	------------	------------	-------------	-----------

-  法人評価点及び事務局評価点が「5」の項目
-  法人評価点を変更した項目
-  法人評価点及び事務局評価点が「3」の項目
-  平成23年度評価で「今後の取組みが期待される事項」の項目